



教育目標

- ・自ら進んで学び未来を創造する生徒
- ・豊かな心を持ち互いに協力して生活をもつ生徒
- ・強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

前期終了

江別市立江別第一中学校
校長 新田 元 紀

◎ 雲の形

気象のことはあまり詳しくないのですが、雲の形が明らかに夏とは変わってきたような気がします。

「本当に北海道なのか？」と疑ったくらいの9月当初の暑さもすっかり落ち着き、ここ数日は、全道各地から紅葉の便りが聞かれるようになりました。こうなってくると、あの厳しい暑さが懐かしく、戻りたいとまで思ったりしますから、人間は勝手なものです。私だけかもしれませんが…。

◎ 修学旅行

9月13日から15日は、3年生の修学旅行でした。私も団長として参加してきました。

訪問地が東北から道南方面に変わりましたが、ウボボイも見学できましたし、函館の街は大人にも子どもにも十分に魅力的です。コロナ禍で制限はあったとしても、満足して旅を終えることができたのではないのでしょうか。

昔は中学校の修学旅行で初めて津軽海峡を越える生徒が大半でした。が、最近はそうでもないようです。「東北に行けなかった」というより「知っているようで知らない北海道の魅力を発見した」と前向きにとらえるべきかもしれません。そうとらえた生徒も多かったようです。

以前に、「行事の天候は、校長（団長）の仕事」と言われることについて書きました。

今回は「ギリギリの仕事」だったということで、ご勘弁ください。メインの自主研修は、傘いらずでした。

◎ 運動会

運動会は10月2日（金）に行いました。「密」を避けるため、簡略化した形での開催でした。

「長縄跳び」などの、わかりやすく学級の団結が高まるような種目をやりたかったのですが、大きな声で回数を数えながら密になって跳ぶ競技ですから、コロナ禍のご時世ではとうてい無理です。綱引きとかいろいろな団体競技をやらせてあげたかったなあ…愚痴っぽくなってすみません。できないことを愚痴るよりも、やれることを前向きにとらえるべきですね。

たった今（10/07 PM 2:20）、延期になっていた「学級対抗リレー」が終わりました。生徒達の「全力」を見ることができました。

なお、2日も今日（7日）も、保護者や地域の方々のたくさんの観戦、応援がありました。深く感謝いたします。ありがとうございました。

◎ 前期終了

10月8日（木）で前期が終了します。12日には、すぐに後期が始まりますが、区切りであることは確かです。

いきなり臨時休校からスタートした前期でした。学校で普通にできていたことが、できなかった6ヶ月。生徒や保護者の皆さんには、不安を抱かせた日々だったと思います。

この半年、頭の中には「あせらず・あわてず・あきらめず」という言葉が浮かんでいました。

先生方には、『柔軟に』『臨機応変に』対応していこうとお願いしてきました。計画性を持ちながらの「柔軟」で「臨機応変」の対応です。午前を立てた計画が午後に変更ということも多々ありました。「生徒のために何ができるか」を常に考えてくれた先生方には頭が下がる思いです。もちろん、柔軟に対応してくれた生徒達、保護者の皆さんにも感謝です。後期も見逃せない部分もありますが、ご理解とご協力をお願いします。